

企業情報検索サービス「B2Beegle ベータ版」ご利用規約

第 1 条 (概要及び変更)

- (1) 本企業情報検索サービス「B2Beegle ベータ版」ご利用規約（以下、「本規約」という。）は、ネットビジネスサポート株式会社（以下、「甲」という。）が提供する企業情報検索サービス「B2Beegle ベータ版」（以下、「本サービス」という。）の提供を受ける者（以下、「乙」という。）が遵守すべき事項を定義し、かつ、甲と乙との間の本規約の内容をあらわすものとする。
- (2) 甲は、本規約を予告なく変更できるものとし、本サービスの利用条件の他、利用規約の内容は、変更後の利用規約を適用するものとする。

第 2 条 (サービス内容)

- (1) 企業情報の検索
乙は、ユーザー登録することで、検索画面から企業情報を検索・表示することができるものとする。
- (2) データの収集
甲は、約 30 万社の企業ホームページに記載されるワードを定期的に収集するものとする。
- (3) その他ご注意事項
 - A) 本サービスは、Web 上に開示されているサイトや情報を自動的に収集し、当社の独自分類法により検索結果を作成したものであり、検索結果にリンクされているサイトに関して、その合法性、道徳性、最新性、著作権許諾の可否などについて一切保証しないこととする。
 - B) 甲は検索結果がご利用者の検索リクエストに沿うよう努力はするが、利用目的との適合性、品質、商品性について何ら保証するものではない。
 - C) 甲は、乙が本サービスを利用する過程において、または、本サービスの停止、欠陥及びそれらが原因により発生した損失や損害については一切責任を負わないこととする。
 - D) 乙は本サービスで取得した情報を、第三者に開示、販売、譲渡し、又は担保に供してはならないものとする。
 - E) 甲は、サービスの利便性向上のため、継続的にサービスの改善および更新を行うこととする。そのため、甲は乙への事前通知なしにサービスの変更、中止を実施することができるものとする。

第 3 条 (乙の権利の範囲)

- (1) 甲が乙に付与する権利は、本サービスに通信端末等を用いてアクセスし、本サービスを利用する権利であり、乙は本サービスに関する著作権、商標権およびその他の全ての知的財産権が甲に帰属することを承諾するものとする。
- (2) 乙が本サービスにより検索した独自の企業情報を、乙はこれを利用することができる。ただしその企業情報を第三者に譲渡、再販することはできないものとする。

第 4 条 (申込・承諾)

- (1) 乙は、甲が指定したユーザー登録方法により本サービスの申込みを行うものとする。

- (2) 甲は、乙の申込みを受けて、本規約第 5 条の利用基準を満たすと判断した時にその申込みを承諾し、乙は、その上で本サービスの利用を開始できる。
- (3) 甲は、次の各号のいずれかに該当する場合、乙による本サービスの利用をお断りすることができる。
- A) 乙が第 5 条に定める本サービスの利用基準に沿わないと判断される時
 - B) 乙が当該申込にかかる本契約上の債務の履行を怠るおそれがあることが明らかであるとき
 - C) 乙が、申込書に虚偽の内容を記載したことが判明したとき
 - D) 乙が違法行為をなすおそれがあると甲が判断したとき
 - E) 契約を締結することにより、甲の業務遂行上または技術上著しい支障が生じると判断したとき
 - F) 上記のほか、甲の業務執行上支障があると甲が判断したとき

第 5 条（本サービスの利用基準）

乙が以下の各号に定める事由に該当する場合には、甲は、本サービスの提供を拒絶できるものとする。

- A) 主体が明らかではなく、責任の所在が不明瞭なとき
- B) 関係諸法規などに反するとき
- C) 不公正な取引を誘導するおそれがあるとき
- D) 虚偽又は、誤認されるおそれがあるとき
- E) 投機、射幸心を著しくあおるものがあるとき
- F) 社会秩序を乱す可能性があるとき
- G) 非科学的または迷信に類するもので、不安感を与えるおそれがあるとき
- H) 名誉毀損、プライバシーの侵害、信用毀損、営業妨害となるおそれがあるとき
- I) 氏名、写真、談話及び商標、著作物などを無断で使用したものがあるとき
- J) 許可・認可を要する業種であり、実際には許可・認可のないとき
- K) 詐欺的なもの、あるいはいわゆる不良商法とみなされるとき
- L) 甲の事業とサービスが競合するとき
- M) 本サービスで提供される企業情報及び解析データを商用として利用、転売するおそれがあるとき
- N) 上記の他、甲が不適切であると判断したとき

第 6 条（本サービスの変更又は停止）

- (1) 甲は、本サービスの改善等のため、乙の承諾を得ることなく本サービスの内容を変更することができるものとする。
- (2) 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当する場合、本サービスの提供を停止することができる。
- A) 本規約上の債務の履行を怠ったとき
 - B) 違法に又は公序良俗に反する態様において本サービスを利用したとき
 - C) 申込書に虚偽の内容を記載したことが判明したとき
 - D) 上記の他、本利用規約に違反する行為を行ったとき
 - E) 本サービスに係るサーバー等機器類が故障したとき、又はメンテナンス作業が必要である

とき

- F) 本サービスに係るソフトウェア及びその他のソフトウェアに障害が発生したとき、又は、メンテナンス作業が必要であるとき
- G) 本サービスに係る電気通信設備の障害が発生したとき、又は、メンテナンス作業が必要であるとき
- H) 本サービスの提供が甲及び乙に損害をもたらすとき
- I) その他本サービスを中断する必要があると甲が判断したとき

第 7 条（個人情報等の取扱い）

本サービスに必要な申込書の個人情報については、別に定める甲のプライバシーポリシーに基づく。

第 8 条（ユーザーID・パスワードの管理）

- (1) 甲は乙に対し、本サービスの利用に必要な ユーザーID 及びパスワード発行し通知する。
- (2) 乙は、パスワードを厳に秘密として保持するものとする。
- (3) 乙は、本条 1 項により通知されたユーザーID・パスワードにより本サービスを利用する場合は、乙自身の利用とみなされることに同意するものとする。
- (4) 乙は、乙のユーザーID・パスワードが盗用、紛失もしくは漏洩した場合、速やかにパスワードの変更を行う。
- (5) ユーザーID・パスワードの管理不備、使用上の過誤、第三者の使用等により乙等自身及びその他の者が損害を被った場合、甲は一切の責任を負わないものとする。
- (6) 第三者が乙のユーザーID・パスワードを用いて、本サービスを利用した場合、当該利用は全て乙によるとみなされるものとする。

第 9 条（本サービス用設備保守およびセキュリティ対応）

甲は、本サービス用設備の保全および情報セキュリティ対策を甲が合理的と判断する範囲で行うこととする。

第 10 条（障害等）

甲は、本サービスに乙に通知すべき障害、または滅失が生じたことを甲が知ったときは、速やかにその障害箇所を修理・復旧するものとする。

第 11 条（サービスの保証について）

- (1) 本サービスは、甲がその時点で保有している状態で提供しており、乙が予定している利用目的への適合性、バグ等の不具合がないことを保証するものではないことを乙は承諾するものとする。
- (2) 甲は本サービスについてのバグ等の不具合の修正、改良等の実施を原則即時に、最大限の努力をもって行うこととする。
- (3) 本サービスは本サービス用設備の故障の修理を完全に保証するものではないことを乙は承諾するものとする。
- (4) 本サービスで提供される企業情報及び解析データの数値は、独自システムで計測されるもの

であり、その正確性について甲は保証するものではない。

第 12 条（禁止事項）

乙は、本サービスを利用するにあたり、次の各号に該当する行為を行ってはならないものとする。

- (1) 甲もしくは第三者の著作権・商標権等の知的財産権、その他の財産権等の権利を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
- (2) 甲のネットワークやインターネット網、それらに接続されたサーバー設備等に不正にアクセスする行為
- (3) 他の利用者や第三者に著しく迷惑をかけ、また社会的に許されないような行為
- (4) 公序良俗に反する行為およびそのおそれのある行為
- (5) 法令に違反する行為
- (6) 本サービスの複製、改変もしくはリバースエンジニアリング、リバースアセンブル、またはリバースコンパイルその他これに類する行為
- (7) ユーザーID 及びパスワードを、第三者に譲渡、貸与する行為
- (8) その他、甲が本サービスの利用者として相応しくないと判断する行為

第 13 条（準拠法、合意管轄）

- (1) 本規約の準拠法は日本法とする。
- (2) 甲と乙との間で紛争が生じた場合、管轄裁判所は東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

制定 2016年05月23日

ネットビジネスサポート株式会社